



大上は残念ながら市内で犯罪が一番多い地域

自治会と共催で「防犯研修会」を開催

大上地区では、地区社協による児童の下校時の見守り、自治会の青パトや各団体による防犯パトロール等の防犯活動を展開していますが、残念ながら大上地区は窃盗等の犯罪が綾瀬市内で一番多く発生している地域になっています。

そこで、大上地区社協は大上自治会と共催して大和警察署生活安全第一課防犯係長の吉田氏と深夜スーパー防犯連絡会副会長で、セブンイレブン大上8丁目店経営の片居木氏を講師に招き、自治会及び地区社協や青少年健全育成会、民生委員・児童委員、女性防犯員を対象とした“防犯研修会”を2月16日（土）の午前10時から2時間にわたって大上自治会館で開催しました。



熱心に聞く参加者と、
上右は吉田係長、左は片居木副会長

大和警察署による平成24年綾瀬市内の犯罪件数672件多い順

- | | |
|----------|-------|
| ① 自転車盗 | 102 件 |
| ② 万引き | 68 |
| ③ オートバイ盗 | 50 |
| ④ 車上ねらい | 49 |
| ⑤ 空き巣 | 45 |
| ⑥ 部品ねらい | 34 |
| ⑦ 自動車盗 | 25 |
| ⑧ 自販機ねらい | 20 |
| ⑨ 傷害 | 16 |
| ⑩ 暴行 | 15 |

当日は54名が参加して、大和署の吉田係長から大和署管内、特に大上地区の犯罪の実態や防犯に関しての話、そして防犯連絡会の片居木副会長から自身が経営する店での犯罪に関する実例の説明を受け、皆さん真剣に聞き入っていました。その後、参加者は6班に分かれて防犯について活発な意見交換を行ないました。

特に住民の身近な犯罪は、空き巣が多く、鍵はしっかり閉めると同時に窓の上側にストッパーを取り付けると良いという話に、皆さんうなずいていました。そして、犯罪者は“人の目”を嫌い、夜間も明るくする事も予防になるが、防犯は外出する時は必ず鍵をかけるといった“できる事を継続する”ことに尽きるという事です。

大上走ろう会のウォーキング会を協賛

大上走ろう会主催の「ウォーキング会」は今回で5回目を迎え、目久尻川沿いを歩き切る計画のもと、2月11日（日）に大上地区社協と大上自治会、大上地区健康あやせ普及員の共催で催された。

当日は午前9時に風車公園に集合した33名の参加者は、海老名市柏ヶ谷から目久尻川の上流を



ウォーキングする参加者

目指して座間市内を北上し、小池大橋までの往復約10kmのコースで行なわれ冬晴れの一日をウォーキングで楽しんでいました。

北の台中学校の「朝の声かけ運動」に協力

北の台中学校PTAの校外生活委員会が年2回実施している「朝の声かけ運動」は、10月に続いて2月25日（月）・26日（火）の両日、生徒の登校時間帯の午前7時50分から8時30分の間で行なわれた。

両日共に、同校の先生方やPTAの役員、そして大上地区社協など

関係団体のメンバーが参加して、学校の正門など校区内5ヵ所で登校する生徒に「おはよう」と声を掛けていました。



大上会館前での声かけ運動